

笑顔で学ぶ

久留米市教育委員会発行  
No. 6 (平成25年3月)

# くるめっ子通信

笑顔で学ぶくるめっ子の育成

- ・「くるめ学」子どもサミット
- ・第2期教育改革プランの推進状況
- ・笑顔で学ぶくるめっ子たち
- ・自尊感情を高めよう

## 「くるめ学」子どもサミットで久留米の魅力再発見



長門石小学校の発表「安全・安心のまち久留米～日本住血吸虫とたたかう人々～」

昨年12月11日に久留米市民会館大ホールで、第1回「くるめ学」子どもサミットを開催しました。小学校4校と中学校2校の児童生徒が、「くるめ学」の学習成果を堂々と分かりやすく発表し、保護者や市民（参加者約450名）から大きな拍手をもらいました。

山川小は、久留米にある文化財の魅力や文化財に関わる人々について調査や体験をし、久留米の文化財を守り続ける人々の思いや願い、自分達が守り伝えていくためにできることを発表しました。青陵中は、取材や調査から、観光都市久留米の魅力やその効果を分析し、ふるさと久留米のよさを活かすために、自分たちで考えた「久留米の活性化案」を伝えました。参加者からは、「子どもたちが、地域を愛し、自信をもって発表する姿から、『ふるさと久留米』を愛する子どもがますます増えていけると感じました」といった声が聞かれました。



宮ノ陣中学校の発表「地域に学ぶ職場体験学習」

### 「くるめ学」ってなあに？

「くるめ学」とは、久留米の自然、産業、祭り、歴史、郷土の先人などについて知り、それを久留米のよさとしてとらえ、「ふるさと久留米」に対する誇りと愛情を育むことを目的とした学習です。久留米のひと・もの・ことに、心と体と頭を精一杯つかって楽しくかかわり、久留米のよさをたっぷり味わうことをねらっています。



# 第2期教育改革プランの推進状況について

★ 市は、「笑顔で学ぶくるめっ子に向かって」を教育改革の目標に、平成23年度から26年度までを計画期間とする「第2期教育改革プラン」を策定し、健やかな体の育成、豊かな心の育成、確かな学力の育成、家庭・地域との連携と学校力の向上を具体的目標として、取組を進めています。

★ 教育改革プランに基づく主な行政施策の推進状況などをお知らせします。

## 健やかな体の育成

### 【主な事業の推進状況】

#### ① 体育的活動の推進

各小中学校の体育、保健体育科担当者を対象に、体力向上の研修会を行い、授業を充実しています。



#### ② 障害のある子どもへの医療的支援

久留米特別支援学校において、医療的ケアが必要な子どもに対し、看護師を配置して対応しています。

### 【今後の取組】

- 学校だけではなく、地域やPTAに働きかけ、子どもの体育的活動を推進します。
- 医療的ケアが必要な子どもたちに対する支援の充実について検討します。

## 豊かな心の育成

### 【主な事業の推進状況】

#### ① 道徳性・社会性の形成

全小中学校で、宿泊自然体験を実施し、様々な野外活動を通じて、社会性、協調性を育成しています。



#### ② 不登校の予防と対策

スクールソーシャルワーカーの学校への派遣や、中学校への専任生徒指導教員の配置などにより、不登校の予防や個別課題の対応に努めています。

### 【今後の取組】

- 今後も全小中学校で宿泊自然体験に取り組みます。
- スクールカウンセラーの活用等により、子どもたちの抱える心理的な課題などに対応し、不登校の予防に努めます。

## 確かな学力の育成

### 【主な事業の推進状況】

#### ① 学習習慣定着支援事業

子どもたちに学習習慣を定着させるため、放課後に学生等を派遣して、学習支援を行っています。



#### ② きめ細かな指導

全国的に行われている小学校1、2年生の少人数学級に加えて、小学校3、4年生と中学校1年生で少人数授業を実施しています。

### 【今後の取組】

- 放課後の学習支援については、学生と地域のボランティアの協力を得て、全小中学校での実施をめざします。
- 少人数授業などにより、基礎学力の向上に積極的に取り組みます。

## 家庭・地域との連携と学校力の向上

### 【主な事業の推進状況】

#### ① 小中連携教育の推進

小中学校の児童生徒や教職員の交流を進め、円滑な接続を図っています。



#### ② 地域学校協議会の設置

全小中学校で地域学校協議会が設置され、会長等研修会の実施などにより活動の充実を図りながら、家庭や地域と連携した学校運営に努めています。

### 【今後の取組】

- 中学校入学前に持つ不安を軽減し、期待感を高めることができるよう、小中連携を推進します。
- 家庭や地域から、より一層の協力を得るために、地域学校協議会の内容の充実を図ります。

# 笑顔で学ぶくるめっ子たち

## 読書で育む知と心



久留米市の児童生徒の図書館利用は、全国平均より高い傾向があります。これは、市内の全学校の学校図書館に、図書司書が配置されているからとも考えられます。

写真の良山中学校では、生徒会図書委員を中心に、学校図書司書の先生の指導を受けながら、年3～4回ブックトークや読み聞かせなど本に親しむ活動に取り組んでいます。その結果、図書館利用の生徒数、図書貸し出し冊数が以前より増えたそうです。このことは、子どもたちの知的好奇心を高めたり、感動する心を耕したりすることにつながっていきます。

## 豊かな心を育む文化部活動

市内の各中学校では、吹奏楽部、美術部、演劇部、放送部などの文化部の活動も盛んです。

宮ノ陣中学校でも、吹奏楽部は市内音楽祭や学校行事をはじめ校区行事等への出演など様々な場面で練習の成果を発揮しています。

写真は、久留米大学大学院の留学生で、台湾の二胡の演奏者としても有名な鄧昱勝さんが、部活の練習に参加し、台湾の伝統的な曲を数曲演奏し、生徒に二胡の体験指導を行っている様子です。このような、文化的な活動を通して子ども達に豊かな心が育まれています。



## 食育で育む健やかな体



南薫小学校では、市の食育啓発・促進事業の指定を受け、昨年12月には5・6年生で『お弁当の日』を設定し、食の大切さや感謝の心などを育てています。写真は、『お弁当の日』の1コマです。子どもたちからは「約2時間かかりました。次はお家の人に感謝弁当を作りたい」、保護者からは「料理を作る楽しさや食べることの喜びを忘れないでほしいです」といった感想があり、親子で食についての感謝の心を学んだお弁当の日でした。

# 共感のアンテナを磨き「自尊感情を高めよう」

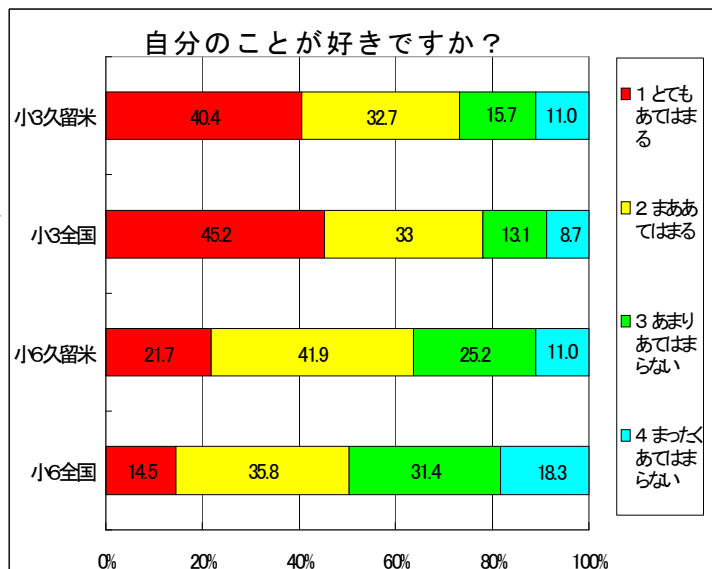
自尊感情とは、自分に対する肯定的な感情のことで、自分はそれなりの能力とよい面をもった大切な存在なのだという気持ちのことです。

つまり、「自分のことが好き」という感情です。

右のグラフにあるように、自尊感情は、学年が上がるほど低くなる傾向がありますので、少しでも高めていけるようにしたいものです。

## 自尊感情が高まると・・・

- ① 気持ちが安定します。
- ② やる気が出てきます。
- ③ 学習意欲も増し、学力向上にもつながっていきます。



H24 久留米市学力・生活実態調査

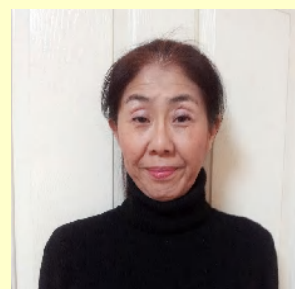
子どもがうれしいと感じている時、悲しいと感じている時、悔しいと感じている時、一緒に「共感」してみませんか。また、「友だちと一緒に難しい計算を解いたよ」「洗濯物をたたんだよ」と話す子どもに、「すごいね」「ありがとう。助かったよ」等を返してあげると、必ず子どもは、自分を大事にしてくれていると感じて、自尊感情を高めていけます。



子どもに共感できる「共感アンテナ」を私たち大人がしっかりと磨いていきましょう。

## 自尊感情を高める3つのポイント

臨床心理士  
向笠 章子



### ○ 子どものよさやがんばりを見つけましょう(ほめて、育てる)

得意なところを認められるとうれしいものです。しかし、自分では得意なところはなかなかわからないものなので、そこを人から認められるとうれしいものです。

### ○ 私にとってかけがいのない存在であることを伝えましょう(人の役に立っている)

自分は、必要な人間であるということを実感することは、自分自身の自信につながります。生活の中で、とても大切な人であり、存在しているそのものが、かけがいのないということをしかり伝えることで元気になれる。

### ○ 役割をもたせ、達成感を感じさせましょう(しっかりやれた、自信がついた)

子どもが自発的に、自主的に活動する場面を設定し、責任をもって最後まで取り組めるようになると自信が出てきて、達成感につながります。

■久留米市教育委員会事務局 教育部総務・学校教育課

〒830-8520 久留米市城南町15番地3

TEL 0942-30-9213 FAX 0942-30-9719 E-mail:kyousou@city.kurume.fukuoka.jp



久留米市携帯サイト